

## 第1問

以下の〔資料〕に基づいて、売価還元原価法によった場合の損益計算書及び貸借対照表を作成しなさい。  
なお、棚卸減耗費は売上原価の内訳科目とする。

〔資料Ⅰ〕決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表		(単位：円)	
繰越商品	200	売	上
仕入	1,000		1,300

〔資料Ⅱ〕商品に関する資料

期首商品売価	240円	原始値入額	220円
値上額	150円	値上取消額	10円
値下額	120円	値下取消額	20円
期末商品実地売価	180円	期末商品正味売却価額	140円

## 第2問

当社は、×1年4月1日に機械装置につき、以下の条件でファイナンス・リース契約を締結した。決算日は3月31日である。当該リース取引に関して、年金原価係数を用いてリース料総額の割引現在価値を算定した場合の、(1)×1年度貸借対照表と(2)×2年度損益計算書をそれぞれ作成しなさい。利息相当額はリース期間にわたり利息法により配分し、各年度利息相当額の計算は、期首リース債務に年利率を乗じる方法により計算すること。計算上、円未満の端数が生じた場合は、年度ごとに、円未満を四捨五入すること。

- ① 解約不能リース期間：3年
- ② リース料：年額700円、総額2,100円、毎年3月31日払い
- ③ 所有権移転条項及び割安購入選択権はなく、特別仕様でもない。
- ④ 追加借入利率：5%
- ⑤ 見積現金購入価額：1,920円
- ⑥ リース資産の減価償却方法：定額法
- ⑦ 年金現価係数（年5%、3年）：2.7232

## 第3問

次の〔資料〕にもとづき、(1)×1年4月1日における機械装置の金額、(2)×2年3月31日における「資産除去債務」の金額、(3)×3年3月31日決算時に計上される「減価償却費」の金額と同日における「資産除去債務」の金額、(4)×3年度決算時に計上される「減価償却費」の金額と同日における「資産除去債務」の金額をそれぞれ計算しなさい。

〔資料〕

- ① ×1年4月1日に機械装置を1,200円にて現金で取得し、使用を開始した。当該機械装置の耐用年数は3年であり、当社には当該機械装置を使用後に除去する法的義務がある。当該機械装置を除去するときの支出は500円と見積られている。なお、資産除去債務の現在価値を算定するに当たっては割引率5%を用いる。その場合の現価係数は3年0.8638である。
- ② ×2年3月31日、×3年3月31日、×4年3月31日のそれぞれの決算日において、定額法（残存価額ゼロ）により、減価償却を行うとともに、時の経過による資産除去債務の調整額について処理をする。なお、資産除去債務に係る利息費用は、減価償却費に含めて計上する。
- ③ ×4年3月31日に機械装置が除去された。当該機械装置の除去に係る支出は510円で、現金にて支払った。なお、資産除去債務に係る履行差額は、減価償却費に含めて計上する。

## 第4問

次の〔資料〕にもとづき、償却原価法（利息法）を適用した場合に、(1)×1年度、(2)×2年度、(3)×3年度において損益計算書に計上される社債利息の金額をそれぞれ求めなさい。

〔資料〕

- ① ×1年4月1日に社債を9,400円で発行し、現金で入金した。なお、発行価額と額面金額との差額は、すべて金利調整分である。
- ② 社債の概要は以下のとおりである。  
額面：10,000円  
満期：×4年3月31日  
クーポン利率：年利6%  
実行利率8.3%  
利払日：毎年3月末日及び9月末日
- ③ 計算上、円未満の端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

第1問

損益計算書

I 売上高		
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高		
2 当期商品仕入高		
合計		
3 期末商品棚卸高		
差引		
4 棚卸減耗費		
5 商品評価損		
売上総利益		

貸借対照表

I 流動資産	
商品	

第2問

(1)×1年度貸借対照表の作成

貸借対照表

II 固定資産		I 流動負債	
リース資産		リース債務	
減価償却累計額	△	II 固定負債	
		リース債務	

(2)×2年度損益計算書の作成

損益計算書

III 販売費及び一般管理費	
減価償却費	
V 営業外費用	
支払利息	

第3問

(1)×1年4月1日における機械装置の金額

円

(2)×2年3月31日における「資産除去債務」の金額

円

(3)×3年3月31日決算時に計上される「減価償却費」の金額

円

同日における「資産除去債務」の金額

円

(4)×3年度決算時に計上される「減価償却費」の金額

円

同日における「資産除去債務」の金額

円

第4問

(1)×1年度		円
(2)×2年度		円
(3)×3年度		円

配点 ○4点 ●5点 ★6点

第1問 30点

損益計算書

I 売上高		1,300
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	●	200
2 当期商品仕入高		1,000
合計		1,200
3 期末商品棚卸高	★●	160
差引		1,040
4 棚卸減耗費	○	16
5 商品評価損	○	4
売上総利益	★	240
		1,060

貸借対照表

I 流動資産	
商品	★ 140

第2問 30点

(1)×1年度貸借対照表の作成

貸借対照表

II 固定資産		I 流動負債	
リース資産	● 1,906	リース債務	● 635
減価償却累計額	△● 635	II 固定負債	
		リース債務	● 666

(2)×2年度損益計算書の作成

損益計算書

III 販売費及び一般管理費	
減価償却費	● 635
V 営業外費用	
支払利息	● 65

第3問 28点

(1)×1年4月1日における機械装置の金額

● 1,632 円

(2)×2年3月31日における「資産除去債務」の金額

○ 454 円

(3)×3年3月31日決算時に計上される「減価償却費」の金額

○ 567 円

同日における「資産除去債務」の金額

● 477 円

(4)×3年度決算時に計上される「減価償却費」の金額

● 577 円

同日における「資産除去債務」の金額

● 0 円

第4問 12点

(1)×1年度	○	784	円
(2)×2年度	○	800	円
(3)×3年度	○	816	円